

相互作用による 防災システムの提案

京助だヨ☆

防災 *STARTER*

埼玉大学 齋藤ゼミ

1. 地域防災の重要性

起こりうる災害

山城地域
予想死者数
2,890人

木津川沿いで震度7
他地域で震度6強

液状化危険度
高程度

生駒断層帯

京都府地震被害想定調査

防災意識の低下

Category	Percentage
直後は高まったが、徐々に薄れている	50.2%
震災をきっかけに防災意識は高まり、現在も持続	17.4%
震災後から意識し、持続している	14.3%
震災後もあまり防災を意識していない	17.4%
その他	0.7%

パナソニック株式会社 防災意識調査 <http://panasonic.co.jp/news/topics/2013/115178.html>

自主防災組織の重要性

情報網の寸断、庁舎・職員などの被災 → 行政機能のマヒ

阪神・淡路大震災における救助者数の対比

消防、警察、自衛隊によって救出された人 約8,000人

近所の住民らによって救出された人 約27,000人

近隣住民など → 救助

さらに → 物資の提供、避難所運営等

8割近く 近所の住民らが救出

自主防災組織の重要性

自分の身を自分の努力によって守る

地域や近隣の人が互いに協力しあう

自助 地域の防災力 災害時の被害を抑える

共助

機能マヒ

国や都道府県等の行政、消防機関による救助・援助等

自主防災組織とは

定義・住民の隣保強同の精神に基づく自発的な防災組織
(災害対策基本法:第5条第2項)

自助

・個々人の防災意識

共助

・助け合いの精神
・近所間の連携

2. 京田辺の現状（問題点）



各住居区の防災の実態

南部

- ・近隣同士の親密度
→高い
- ・自主防災組織を作る傾向
→低い
- ・消防団の数
→多い

⇒自助の不十分性

北部

- ・近隣同士の親密度
→低い
- ・自主防災組織を作る傾向
→高い
- ・消防団の数
→少ない

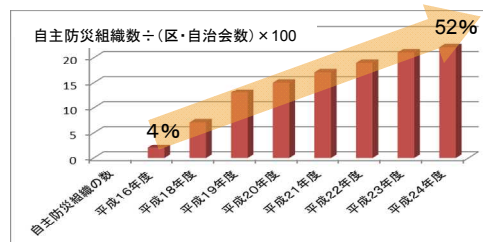
⇒共助の不十分性

京田辺市へのヒアリング調査より

自主防災組織の実態

ヒアリング調査

京田辺市の組織数は年々増加傾向に！
H16年度 2団体 → H24年度 22団体



実態からわかる問題点

自主防災組織の増加・活発化

- ・防災教育の必要性
- ・指導者に対するニーズ

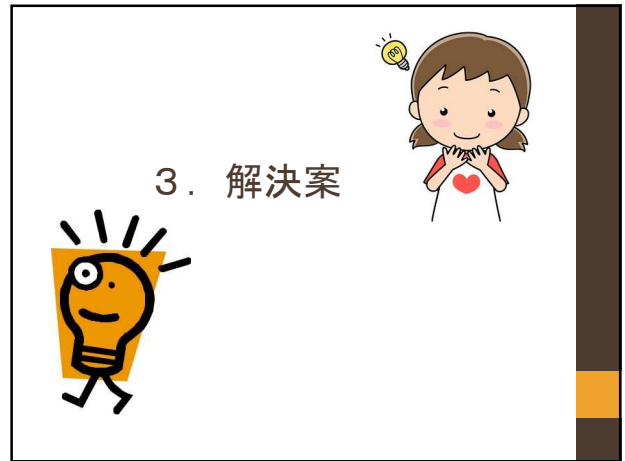
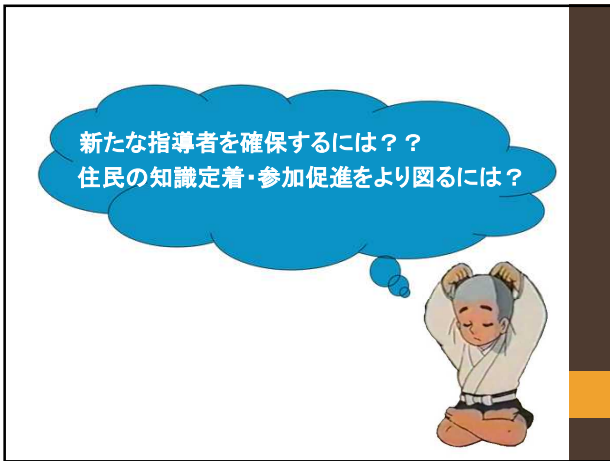
防災訓練等における
新たな指導者の必要性

ヒアリング結果で判明したその他の問題

参加者が少ない、同じ顔ぶれ

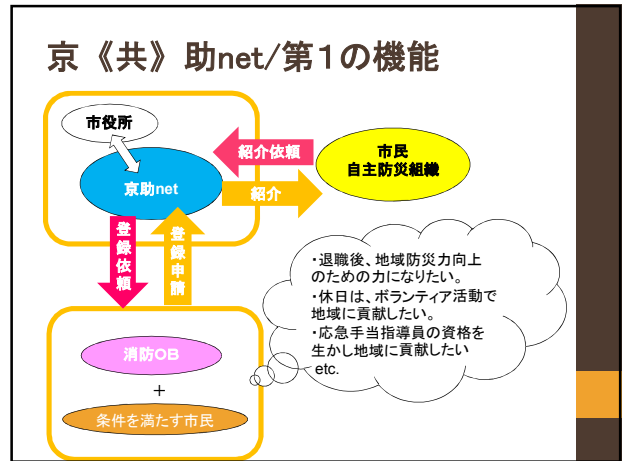
防災への関心が低い

防災に関する意識を高め、
参加人数を増やす



提言

- 1 **京《共》助net**
→ 指導者の確保
- 2 **防災フェスティバル**
→ 参加率・住民の知識向上

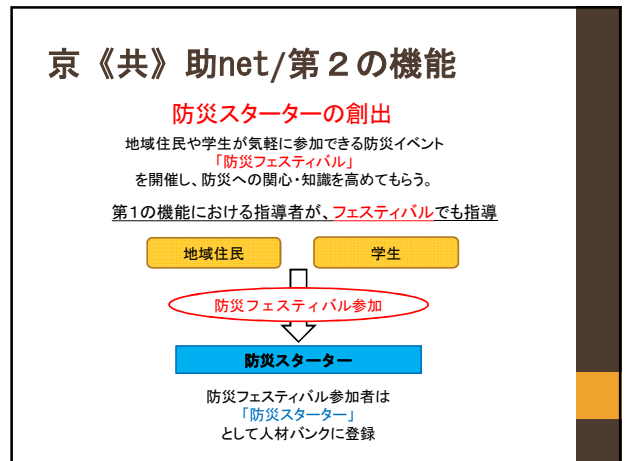


条件を満たした市民とは？

以下の知識・技術を有する市民

私も指導します

- ✓ 消火・避難器具の使用法
- ✓ 心肺蘇生法
AEDの使用法
- ✓ 救急処置
(止血・包帯など)



防災スターターとして登録すると…

全員が貰える、防災スターターバッジ

- 1 災害時に役立つ知識・能力を有していることのアピール
- 2 防災士や防災危機管理者等の資格取得が有利に
- 3 災害時のボランティア参加への意思表示

地域住民や学生が気軽に参加できる防災イベント

防災フェスティバル

地域住民が参加・体験し協力して問題の解決を図る手法。地域の連携力を高める効果が期待される。

相互派遣による防災フェスティバル

目的	・ 防災の意識の向上や防災をより身近なものとして多くの人々に及び取ってもらうために開催。
主催	・ 市と区・自治会と近隣の区・自治会による支援
場所	・ その区・自治会
対象	・ 主に学生や自主防災組織に関わりがない人々

自主防災組織で行われている訓練や指導を楽しみやすい形で参加者に提供。

これを繰り返していくと……

～2014年～

防災フェスティバル開催中！！

相互作用によって近隣の区・自治会の情報共有がスムーズに！！

煙脱出ゲーム

煙の充満したブースから避難！！

目的…… 火災発生時の擬似体験を通じて実際に火災の起きた場合の適切な行動や、煙の性質を学ぶ

「煙を吸って死亡」は火災による死因の9割を占めるんだよ！

↓

自力避難の可能な住民が増える

避難所開設・運営ゲーム

避難所の開設・運営や避難所生活を体験する

目的… 体験を通して実践力やノウハウの取得、避難所生活への理解を深める

実際の被災時は住民主体の避難活動が重要！

↓


発災時のスムーズな避難所運営が可能になる

そして各自主防災組織は、


活動報告会

をフェスティバル内で行う

日頃の活動や助成金の使い道を自主防災組織に発表してもらおう！



活動を公開することで、多くの人々に自主防災組織を知ってもらい、興味を持ってもらえる



京《共》助net/第2の機能

防災フェスティバルへの参加

住民一人ひとりが防災に関する

知識・能力
を高める

把握

参加促進

自主防災組織が住民の防災意識を

自主防災組織への

京《共》助net 第1・第2の機能

人材バンク機能

指導者紹介機能を通して自主防災組織の活動を活性化

住民一人ひとりが防災に関する

知識・能力
を高める

把握

参加促進

自主防災組織が住民の防災意識を

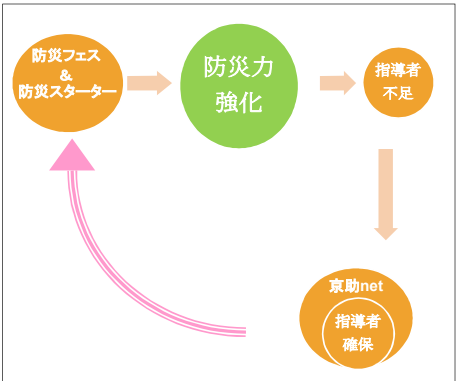
自主防災組織への

地域防災力の向上

4. 将来の京田辺



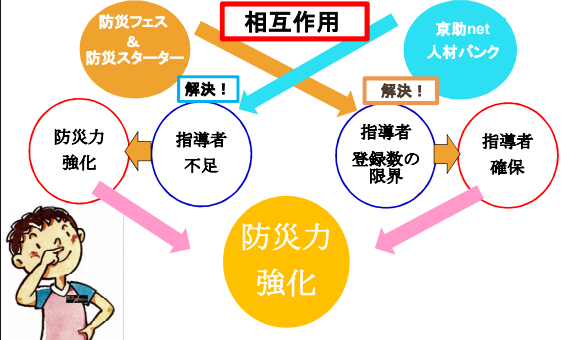
2つの政策作りを通して見えた問題と解決のループ図



```

    graph LR
      A[防災フェス & 防災スターター] --> B[防災力強化]
      B --> C[指導者不足]
      C --> D[京助net 指導者確保]
      D --> A
  
```

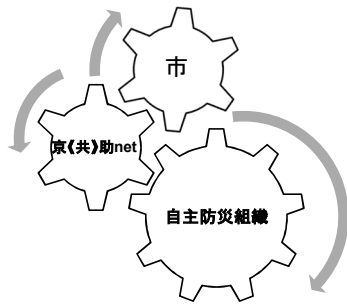
京助netと防災フェスによる相互作用から見た地域防災力強化



```

    graph TD
      A[防災フェス & 防災スターター] --> B[指導者不足]
      C[京助net 人材バンク] --> D[指導者確保]
      B -- 解決! --> E[指導者登録数の限界]
      D -- 解決! --> E
      E --> F[防災力強化]
      F --> A
  
```

地域防災力の向上



ご清聴ありがとうございました。